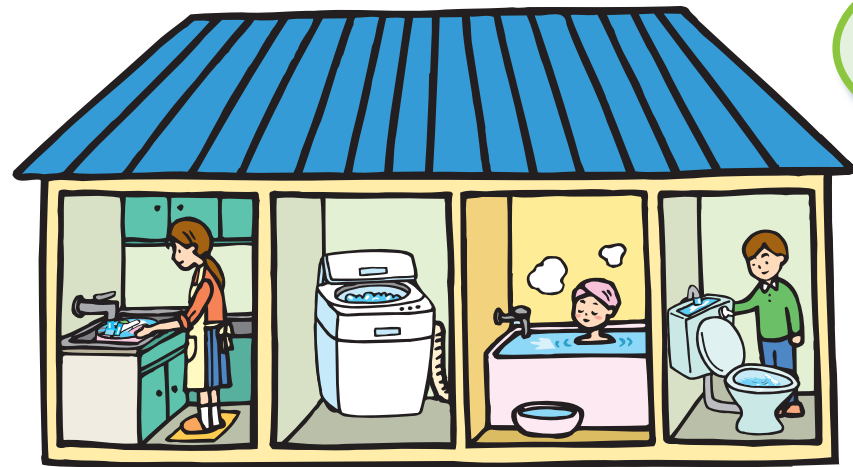


わたしたちは、1日にどれくらいよごれた水を出しているのでしょうか。

◆1人が1日出すよごれた水の量は、およそ220L

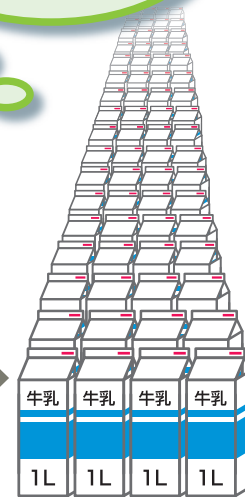


台所・洗たく・ふる・トイレなど

1人が1日出す
よごれた水の量

220L

220Lの水の量とは
1Lの牛乳パックが
220本分の量です。



220本



わたしたちは1人1日に220Lもの
よごれた水を出しているんですね。
水を使うということは、よごれた
水を出していることなんですね。

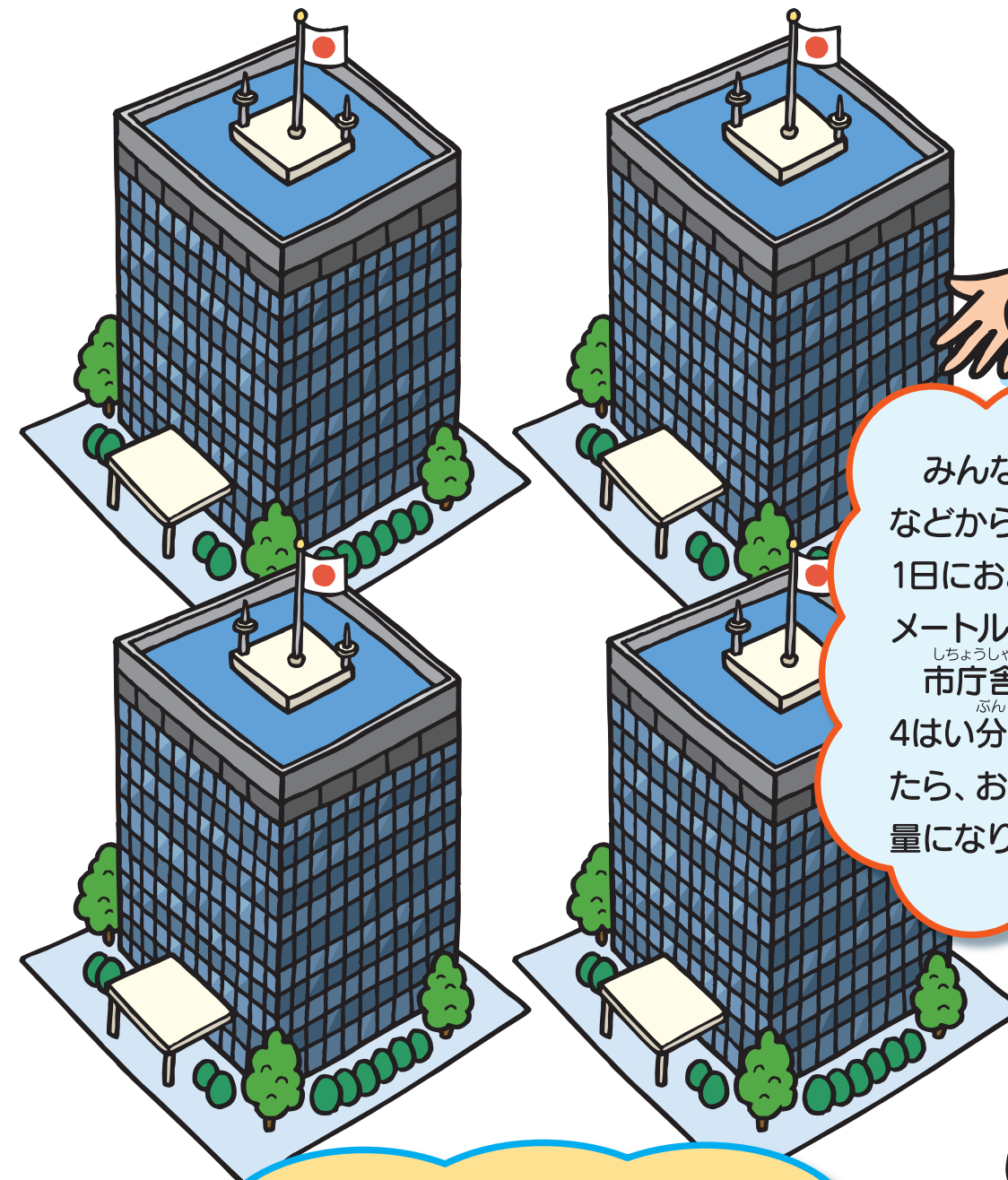
では、北九州市全体でみれば、
1日にどれくらいよごれた水が
出ていると思いますか。



★指導上の留意点★

一度使って汚れた水のことを「汚水」といいます。汚水と雨水を合わせて「下水」といいます。
P4にも同様の記載がありますのでご参照ください。

北九州市全体では、1日にどれくらいよごれた水が出ているのでしょうか。



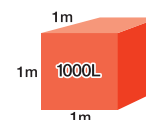
みんなの家や店、工場
などから出るよごれた水は、
1日におよそ41万立方
メートルあります。
市庁舎だったら、およそ
4はい分、学校のプールだっ
たら、およそ1,950はい分の
量になります。

とてもすごい量ですね。
これだけたくさんのよごれた水が、
いったいどこに流れて、どうなってい
るのか、知りくなりました。



★指導上の留意点★

1立方
メートル
(m^3)



市庁舎の大きさは、東西45m、南北42m、高さ58.1mで容量は109,809 m^3 です。

($410,000\text{m}^3 \div 109,809\text{m}^3 = 3.7$ 約4杯分)

小学校のプールの容量は約210 m^3 です。

($410,000\text{m}^3 \div 210\text{m}^3 = 1,952$ 約1,950杯分)

※処理量(410,000 m^3)には雨水処理量を含んでいるため給水量(P5)と量が異なります。

410,000 m^3 には雨水が含まれていることを説明して下さい。